

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年3月22日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4691000055
法人名	有限会社 童里夢
事業所名	グループホーム どりーむ大山
所在地	鹿児島県指宿市山川大山2951番地 (電話) 0993-35-0280
自己評価作成日	平成24年2月16日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	平成24年3月14日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

開所して、間もなく1年を迎え、利用者と職員、又、利用者同士も馴染みとなり、日常生活も信頼関係の構築に伴って、日々穏やかになってきている。

利用者は、介護度2～4と幅があるが、外出の機会(お祭り、ピクニック、初詣)を作ったり、菜園でできた作物や家族や近所より頂いた食材で、保存食(野菜の漬物・すももジャム)を作ったりして楽しんでいる。

・ホームの近くに、消防署や交番・農協・病院・スーパーマーケット等があり、利便性に富んでいる。また地域にとけ込み、日常の中で地域住民と交流や連携が行われている。

・利用者は、居室から広い芝生の庭に出て、自由に過ごすことができる。

・職員は、明るくイキイキと働いており、利用者は職員との一緒に暮らしに安心した生活をしている。

・管理者は、事業所の役割を活かし、「認知症サポーター養成講座」の実施に向けた計画を、意欲的に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	朝のミーティングの際に、理念を読みあい、共有と実践に努めている	理念は、開設時に職員で話し合い、わかり易い言葉で作成している。ミーティングで唱和し、実践につなげ、利用者も笑顔で、穏やかに過ごしている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	自治会公民館である、高齢者地域交流会に参加したことで、声かけしてもらえるようになった。	自治会に加入し、地域の行事等に積極的に関わっている。日々の散歩での挨拶や食材のおすそ分け・高齢者のふれあい会に参加するなど、地域との交流に取り組んでいる。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	近所の方や地域の方々からの電話相談や直接相談に対しては、親身な対応に心がけ、協力を努めている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月ごとの開催で、状況報告を行っている。参加者より、地域の情報や活動の提案を頂き、支援に生かしている。	利用者や家族・行政・自治会長が参加し、定期的に会議を開催している。積極的な意見や要望・提案があり、活発な会議となっている。職員で話し合い、次回に報告できるように取り組みサービスに活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議や実施指導の機会を使って、色々な情報やアドバイスを頂いている。	運営推進会議以外にも、必要時に行政に出向き、相談やアドバイスを受けている。市の担当者とは、協力的な連携がとれている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体の動きを抑制するような拘束の実施はない。玄関の施錠は、夜間の防犯目的のみである。	職員は、拘束のない生活の暮らしについて勉強会を行い、理解を深めている。昼間は施錠がなく、利用者は、居室から庭に出て自由に過ごしている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	打撲や打ち身など、身体的なものは、発見者が記録に残し、皆で原因究明や再発防止を検討している。管理者は、職員の対応に注意を払い、精神的虐待がないよう、指導している。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	市町村の担当者や、関係機関と連携をとり、相談やアドバイスを頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>入所時に説明書をもとに、締結や解除についての説明を行い理解を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>面会の際には、報告だけではなく要望や意見も伺うように努めている。利用者の要望や意見は真摯に受け止め、反映できるように努めている。</p>	<p>利用者や家族と関わるあらゆる場面を利用して、要望を聞くように取り組んでいる。履物をスリッパに変える等、細かな要望も職員で話し合い、対応している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>毎月開催する職員会議において、管理者は、職員の疑問や意見提案に丁寧に答え、運営に反映している。</p>	<p>管理者と職員は、なんでも気軽に話せる関係にあり、運営上、課題が生じた場合、その都度、検討している。毎月の職員会議で有効な話し合いを持ち、意見を反映している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>休みの希望や急用に際しては、勤務の調整を行い、職員個々とのコミュニケーションで、職場環境や条件の調整に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>職員の希望や研修の内容に合わせて、代表者が管理者と話し合っ て、外部研修を受ける機会を確保している。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>県はもとより、薩摩半島地区や指宿地区のグループホーム協議会に入会し、同業者との交流に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	本人の話をよく聞いて、穏やかに笑顔で対応することで、安心して頂けるよう努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入所申し込みの時から、家族の訴えに親身になって対応し、入所時にはさらに詳しく要望に耳を傾けることで、信頼関係作りに努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入所申し込みがあると、定期的に電話や訪問で状況を見極め、担当ケアマネージャーとともに、適切な対応が出来るよう努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は、ホームを「もう一つの家」として考え、利用者を、「共に支え合って生活する者同士」として、関係を築いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	面会時には、家族だけの時間や空間を提供して絆を支援したり、間に入ってコミュニケーションを図り、共に利用者を支える関係であるように努めている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近所の自宅や友人・兄弟宅への訪問には、付き添っている。家族の協力で、馴染みの温泉や墓参りなども可能となっている。	本人の大切にしてきた家族や友人・馴染みの店・温泉・墓参り等について、把握している。その上で、利用者や家族の要望に沿い、馴染みの人や場の関係が途切れないように、その人の暮らしの支援に努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	利用者同士の関係や個性を把握し、座席の位置を調整したり会話を取り持つなどの支援を行っている。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	現在までに死亡退所が1名であり、葬儀や初盆のお参りや遺族に出会った時の声かけに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	声かけだけでなく、会話する時間を心掛けて要望や不安を把握し、困難な要望にも丁寧に答えるように努めている。	利用者の思いや意向は、日常の関わりや申し送りで把握し、必要に応じて話し合いをしている。困難な場合は、本人が納得できるように話し合いを持っている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	日々の生活の中での世間話も大切な情報収集の機会ととらえ、大切な情報は記録し把握に努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	朝夕の申し送りや、日常の活動の中で必要に応じて討議し、変化や状況の把握に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人の意見はもとより、家族や主治医との意見交換で状況に即した介護計画を作成できるよう努めている。	本人や家族の意向を取り入れ、職員・医師等と話し合っ、意見を反映した計画を作成している。職員は気づきや状態を個別記録に記載し、毎月の評価表に反映させている。その上で、定期的に見直しをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>日々の様子は、個別記録に残し、毎月の評価表では支援経過としてポイントと記録して実践や計画や見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>近所の自宅や友人・兄弟宅への訪問や、墓参りに付き添うなど個別支援に努めている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>地元の友人・知人宅を訪問したり、面会に来てくださったりすることで、穏やかに豊かな暮らしに努めている。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人希望をもとに、支援や家族の協力で、かかりつけ医の受診や往診を受けている。</p>	<p>本人や家族が希望するかかりつけ医となっている。協力医療機関や歯科医と連携もつれ 受診支援などにより、適切な医療を受けている。緊急時対応など勉強会を設け取り組んでいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>体調管理や内服管理などを、職場内の看護資格を持った職員と連携しながら支援している。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>入院時には、情報の提供を口頭や文章にて行い、退院時は医師の指示や看護要約をいただくことで、連携をはかっている。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時に、医療依存度が高くなるとホームでの介護は困難であることを示し、身体機能の低下に合わせて家族との話し合いを重ね、他の機関への申し込みや相談を行っている。</p>	<p>開設1年目であり、指針を統一し明文化したものはないが、利用者の状況や家族の相談など、随時支援に取り組んでいる。</p>	<p>家族等に説明できる重度化や終末期のホームのケア方針を、職員と検討して作り上げることを期待したい。</p>
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時の応援体制の確認や、救急対応を、職員会議時に申し合わせて、緊急対応のイメージ化に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>消防の協力のもと、開所前に夜間設定の避難訓練を行い、開設後に利用者と共に昼間設定の避難訓練を行った。</p>	<p>年に2回、消防署の指導のもと、昼夜間想定で、利用者とともに訓練している。地域住民の参加で自主防災にも取り組み、終了後は交流会を行い地域との協力体制を築いている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	入所者の生活歴を把握し、その方に合った話し言葉や人格を尊重した言葉使いに努めるよう、管理者からの指導や会議における申し合わせを行っている。	居室や風呂・トイレ等、使用時はドアを閉めて、プライバシーの確保に努めている。職員は、言葉のかけかたや誘導の仕方などを研修し、常に自己を振り返り、人格を傷つけないケアに取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	1対1での会話を大切にし、ケアマネージャーや受け持ちを中心に、本人の思いや希望はないかを意識して話すよう努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個々のペースを尊重し、入浴の希望や外出に対応できるように努めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	家族の協力で美容室へいたり、職員にて訪問散髪の依頼や買い物に行くなどの支援を行っている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	偏食への対応と、季節の食材や地域の産物を活用することで、食事を楽しんで頂けるよう務めている。	利用者の嗜好を把握し、食事形態の工夫をしている。また、加工食品は使わず、自然食品を中心に調理している。誕生日食やケーキ作り等、気分転換できる支援にも取り組んでいる。家庭菜園の野菜を職員と一緒に調理し、食事を楽しんでいる。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量は記録に残している。水分量の少ない方は、果物や好みの飲み物に変えて摂取を支援している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	食後のうがいや義歯洗浄を個々のADLに合わせて、声かけや支援を行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	排尿パターンに合わせて支援するほか、自立度や意思を尊重し、トイレに立った時に合わせて、さり気なく支援ができるように努めている。	一人ひとりの排泄パターンを把握し、個々に合わせて誘導や見守り・介助を行い、排泄の自立支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	排便確認と指示の下剤調整状況の情報を共有し、便秘の原因や改善方法の検討を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	声かけやタイミングを工夫したり、入浴拒否が続くときは、足浴やトイレ時の陰部洗浄の支援に変えることで、不快感が生じないように又、気分転換ができるように努めている。	週に2回、入浴を楽しめるようにしている。入浴希望者には、いつでも対応できる。集落の温泉に家族と一緒にいき、地域の人との交流を楽しみにしている利用者もいる。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中も、フロアのソファや畳で自由にくつろいで頂き、夜間の不眠時は声かけや付き添うことで、安心できるように努めている。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	内服説明書を1冊にまとめ、看護資格を持った職員を中心に管理し、支援と症状の変化の確認に努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	付き添いで、歩行可能な方が多い為、ミニ運動会や祭り・ピクニック・初詣など外出で、気分転換の支援に努めている。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	墓参りや外食・温泉など、家族の協力を頂きながら出かける方もいらっしゃる。	日常的に散歩を行っている。自宅・友人・兄弟宅訪問やピクニック・買い物など、戸外に出かける支援をしている。また、地域の行事に参加したり、墓参りや外食などに出かけ、利用者の楽しみの一つになっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現在は、おこずかい程度を事務所で預かっている方が1名のみで、衣類などの買い物に同行し支援している。</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>電話の希望に対しては、家族の許可や情報を得て、状況や必要に応じて支援している。</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>天候や気温に応じて、明るさや空調の調整を行っている。また、季節の花や飾り付けを行って、季節感を採り入れている。</p>	<p>フロアは明るく天井も高く、利用者は、椅子やソファ・たたみで自由に過ごし、フロアで過ごす時間が多い。キッチン是对面式で、お互いの動きが良く見え、会話も弾んで居心地よく過ごしている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>フロアは、椅子のほかにソファや畳と、個々が一人でくつろぐ空間が設けられている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>仏壇を置いたり、テーブルや使いやすい衣装ケースを置いたり希望を合わせ配慮している。</p>	<p>使い慣れた物や家族の写真・置物など、好みのものを飾っている。毎日、位牌に祈りをしている利用者もいる。本人と家族で相談しながら、居室を心地よく安心して過ごせるようにしている。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>トイレや居室に名札や飾りを付けることで、迷って不安や他者に迷惑が掛からないように、本人と一緒に工夫している。</p>		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
		○	3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1 大いに増えている
			2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての家族等が
			2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない